

第2期健康横浜21中間評価検討部会委員一覧 名簿

	氏名	職名	健康横浜21推進会議
1	太田 恵蔵	横浜市医師会 常任理事	会長
2	荒木田 美香子	国際医療福祉大学保健医療学部 教授	副会長
3	高堂 正	横浜市薬剤師会 副会長	委員
4	長谷川 利希子	神奈川県栄養士会 常任理事	委員
5	堀元 隆司	横浜市歯科医師会 常任理事	委員
6	渡辺 哲	神奈川産業保健総合支援センター 所長	委員

事務局(保健事業課)

区局名	課・補職	氏名
健康福祉局	健康安全部担当部長	藤原 啓子
	担当部長	船山 和志
	担当部長	田中 園治
	保健事業課健康づくり担当課長	横森 喜久美
	保健事業課 担当係長	栗原 明日香
	保健事業課 担当係長	井上 健正
	係員(保健師)	篠井 明日香
	係員(栄養士)	有田 浩史

第2期健康横浜21中間評価の進め方

1 検討の方法

第2期健康横浜21の評価は、健康横浜21推進会議において行うこととし、検討にあたっては、推進会議に設置された第2期健康横浜21中間評価検討部会（以下「中間評価検討部会」という。）において、検討していきます。

検討に際しては、本市内部作業ワーキングで取組状況の振り返り等を進め、中間評価検討部会に報告します。

2 検討の内容

(1) 目標に対する実績値について

目標項目ごとの直近実績値に係る情報を収集し、データ分析等を行った結果について検討します。

データによっては、直近実績値の取得が難しいものなどもあるため、必要時、目標項目に使用する数値の見直しや項目の絞り込み、再設定等の修正も行います。

(2) 様々な取組の結果について

本市（18区福祉保健センター含む）ほか、関連団体等の取組成果について検討します。

(3) 今後取り組むべき方向性について

(1)、(2)を踏まえ、数値と取組結果を併せた結果から評価をし、今後5年間の方向性について検討します。

3 今後の主なスケジュール

(1) 中間評価部会

日付	回数	内容
6月13日	第1回	評価の考え方、目標の進捗状況・評価の確認
8月下旬	第2回	骨子の提示、方向性のたたき台について検討
12～1月	第3回	中間評価最終まとめ

(2) 健康横浜21推進会議

日付	回数	内容
9月初旬	第1回	骨子の提示、方向性についての意見聴取
3月	第2回	中間評価最終報告、方向性を確定

(3) その他、全体スケジュール

日付		内容
9月	市会	中間評価骨子案について報告
10月～11月	パブコメ	骨子案市民意見募集
3月	市会	中間評価最終報告（予定）※

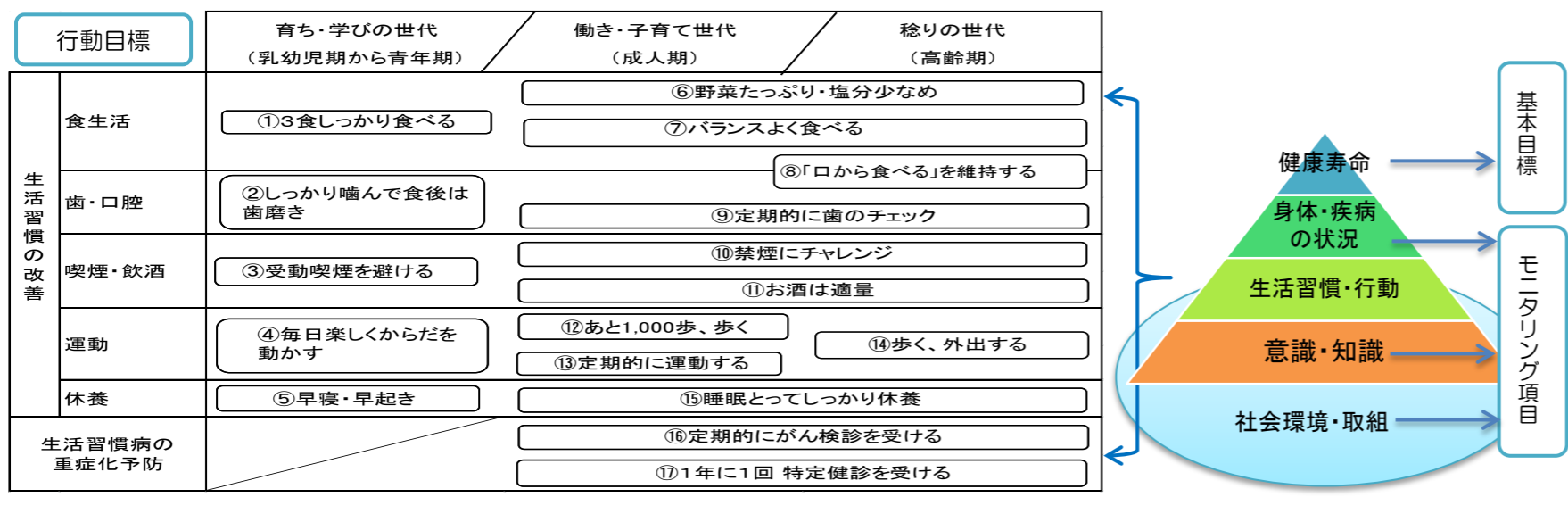
※なお、数値の算定状況によっては最終報告時期が変更になる可能性があります。

中間評価の趣旨

○平成25年度～平成34年度の間地点となる今年度、目標に沿って進捗状況を評価し、今後、強化していくべき取組の方向性を検討していきます。
 ○評価の過程で、目標値等の再設定や新たな指標が必要であれば、修正をしていきます。また、評価結果に基づく下半期の取組の方向性については、健康アクションと連動させて検討していきます。

目標の構成

○基本目標：10年間にわたり健康寿命を伸ばす
 ○行動目標：市民一人ひとりがそのライフステージに合わせた健康づくりに取り組めるように、取組テーマである「生活習慣の改善」と「生活習慣病の重症化予防」につながる健康行動の中から、分野ごとに最も重要と考えられる項目を行動目標として設定
 ○モニタリング項目：生活習慣病に関連する疾病状況、行動目標以外の身体状況、生活習慣、意識・知識、行動目標に関連する社会環境に関するデータをモニタリング項目として設定



○目標項目及び指標の分類
 基本目標：1 行動目標の指標：26 モニタリング項目の指標：81（生活習慣、意識・知識、社会環境、疾病状況、身体状況）
 【ライフステージ別・分野別の指標内訳】

ライフステージ	育ち・学びの世代					働き・子育て世代		働き・子育て世代/稔りの世代 (共通)							稔りの世代				全世代	合計	全体		
	食生活	歯・口腔	喫煙・飲酒	運動	休養・こころ	運動	歯・口腔	食生活	歯・口腔	喫煙・飲酒	休養・こころ	がん検診	特定健診	運動	全般	食生活	歯・口腔	運動				全般	食生活
行動目標	1	2	1	1	1	2	1	3	1	4	1	1	1	-	-	1	1	3	-	-	25	健康寿命	1
モニタリング項目	生活習慣	2	1	-	1	-	-	3	2	-	1	2	2	-	-	1	-	1	-	-	19	疾病状況	12
	意識・知識	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	1	4	-	-	-	-	-	11	身体状況	8
	社会環境	2	1	-	-	-	-	3	2	3	1	3	1	4	9	-	-	-	2	-	31		

評価の方法

1 評価の方法
 目標として設定した指標について、目標値と照らし合わせて数値変化を確認し、さらに取組やモニタリング項目から総合的に進捗状況を評価していきます。

【行動目標】 ↑目標値に向かっている →変化なし ↓目標値から離れている

数値変化	策定時と直近値の数値変化(目標値と照らし合わせた変化)
A	↑ (有意差有、目標値達成を含む)
A'	↑ (検定なしで3%以上の改善)
B	→ (有意差なし、または検定なしで±3%未満の変化)
C	↓ (有意差有)
C'	↓ (検定なしで3%以上の悪化)

【モニタリング項目】(参考指標であり、分野別評価の際に参考とする)

数値変化	モニタリング項目ごとに比較(検定あり)
—	改善傾向 (有意差有)
—	改善傾向 (検定なしで3%以上の改善)
—	変化なし (有意差なし、または検定なしで±3%未満の変化)
—	悪化傾向 (有意差有)
—	悪化傾向 (検定なしで3%以上の悪化)

【分野別評価】(行動目標・モニタリング項目・局区の結果等から評価)

行動目標ごと	評価基準
順調	目標値がA及びA' 判定以上(複数ある場合はすべて)で、モニタリング項目や取組結果が順調であるもの。
おおむね順調	目標値はB判定(複数ある場合はいずれか)であるが、モニタリング項目や取組結果から概ね順調に進んでいるもの。
やや遅れ	目標値はB判定であるが、モニタリング項目や取組結果が進んでいないもの。あるいは取組が進んでいるが、目標値がC判定であるもの。
遅れ・取組が困難	目標値がC及びC' 判定である場合で、モニタリング項目や取組が進んでいないもの。

2 ライフステージ別の評価

【総合評価】 行動目標の進捗状況から「分野別」に取組を強化する分野を表記

ライフステージ別	「分野別」の評価基準から判定する	強化すべき分野
順調	「順調」が多い	1～2分野
おおむね順調	「おおむね順調」が多い	複数あり
やや遅れ	「やや遅れ」が多い	複数あり
遅れ・取組困難	「遅れ」が多い	分野全体

3 中間評価のまとめ

基本目標の達成状況から計画全体の進捗を確認する。

評価結果から見えてきたこと

<全体の傾向>

- 男女差あり ○年代別の差
- 知識は改善（「情報」は十分との意識あり）

<分野別・世代別>

- 歯・口腔は全体的に改善（世代を通して改善傾向）
- 睡眠・休養に課題あり（世代を通して課題あり）
- 「育ち・学び」：改善傾向にあるが、睡眠・運動は課題
- 「働き・子育て」：男性は横ばい 女性：項目で差があり
- 「稔り」：男性は横ばい 女性は改善項目あり

行動目標内訳（男女別等詳細別すべて）

目標値に対して	数値変化	項目数	割合	男女別内訳	
				男	女
近づいた	AもしくはA'	22	28.6%	5	8
変化なし	B	37	48.1%	10	7
離れた	CもしくはC'	6	7.8%	1	3
	集計中他	12	15.6%	—	—
	合計	77		16	18

現在の基本的な健康づくり事業体系(各区共通事業)

資料5-1

年代	育ち・学びの世代					働き・子育て世代					稔りの世代		地域ケアプラザほか (包括支援センター)
	0	3	6	12	15	20	30	40	50	65	75~		
全項目 共通	広報・イベント・健康講座等での啓発												
	生涯学習組織への啓発												
が特定 検診	育児教室・子育て 支援拠点等での啓発					健康手帳配布による啓発							
	横浜市健康診査												
	飲食店・理美容・クリーニング事業者への啓発												
	地区活動における啓発(保健活動推進員)												
	疾病の重症化予防事業(糖尿病)												
	健康経営企業応援事業												
	生活保護受給者の健康支援事業												
食生活	乳幼児健康診査												
	食育の取り組み												
	給食施設指導												
	母親(両親)教室												
	市民の健康づくり推進事業(ヘルスマイトに委託)												
	食品表示啓発												
	介護予防事業 における啓発												
	中途障害者・作業所・生活教室での啓発												
	集団健康教育事業												
	生活習慣改善相談												
運動	よこはま健康応援団												
	ウォーキングポイント・運動講座												
	集団健康教育事業												
	疾病の重症化予防事業(糖尿病)												
	健康経営企業応援事業												
	生活保護受給者の健康支援事業												
	介護予防事業 における啓発(ロコモ)												
禁煙・ 飲酒	喫煙・薬物防止教育												
	生活習慣改善相談												
	中途障害者・作業所・生活教室での啓発												
	疾病の重症化予防事業(糖尿病)												
	健康経営企業応援事業												
歯科	母子手帳面接・母親 (両親)教室・乳健での啓発												
	妊産婦歯科相談												
	集団健康教育事業												
	集団健康教育事業												
休養	疾病の重症化予防事業(糖尿病)												
	健康経営企業応援事業												
	生活保護受給者の健康支援事業												
支える 基礎 事業	メンタルヘルス講演会												
	生活習慣病 訪問												
指導 訪問	◎保健活動推進員育成・活動支援/食生活等改善推進員養成講座・ヘルスマイト活動支援/民生委員への啓発												

◎子育て
◎介護者への健康啓発
◎既存事業との協力

現在の基本的な健康づくり事業体系(庁内関係局課の事業)

資料5-2

年代	育ち・学びの世代					働き・子育て世代				総りの世代	
	0	3	6	12	15	20	30	40	50	65	75~
全項目共通	健康福祉局福祉保健課による地福における健康づくりの取組の推進、健康キャラバン事業(つながりづくりの重要性についての啓発媒体配布、研修、広報物への掲載)										
										健康福祉局福祉保健課によるシニアパワー発揮推進事業(高齢者の地域における新たな活躍の場づくり)	
	健康福祉局保健事業課による健康スタンプラリー事業										
										健康福祉局介護保険課によるシニアボランティアポイント	
						健康福祉局保健事業課(区)、保険年金課、医療局による疾病の重症化予防事業					
					健康福祉局保健事業課による生活保護受給者の健康支援事業						
					健康福祉局保健事業課による健康経営企業応援事業、企業と応援する市民の健康づくり						
					経済局ライフイノベーション推進課による健康長寿ビジネス創出セミナー、よこはま健康経営会議(市内企業への健康経営の普及を目的とした取組)						
健康福祉局保健事業課によるよこはまウェルネスプロモーション(企業連携のPR、オール横浜・プロモーション(広報媒体を活用したPR、市庁舎の健康階段や屋外広告の実施))											
が特定検診											
						健康福祉局保険年金課による特定健診の未受診者対策、認知度の向上					
					健康福祉局保健事業課によるがん検診啓発、受診勧奨						
食生活											
			教育委員会健康教育課による食育事業、学校における食育推進指針の策定、食育出前講座								
	健康福祉局保健事業課によるよこはま朝食キャンペーン等の食育の取組の推進										
				環境創造局農業振興課によるはま菜ちゃん料理コンクール、市内産農産物の一斉供給、出前講座、はまふうどコンシェルジュの育成・活動支援、横濱農業の祭典出典、横浜・食と農のフォーラムの内容検討、広報印刷物の作成							
健康福祉局食品衛生課による食の安全を考えるシンポジウムの開催(講演、情報発信、情報交換等で食の安全に対する理解を深める)											
運動	こども青少年局企画調整課による子どもの事故予防啓発推進事業										
						健康福祉局保健事業課による横浜健康スタイル推進事業(ウォーキングポイント)					
				教育委員会指導企画課・教育課程推進室による市子どもの体力向上プログラム、体力・運動能力調査、アスリートの招へい							
									健康福祉局高齢健康福祉課による健康づくり推進事業、健康づくり・介護予防事業(シニアスポーツ大会、体操ひろ場等)		
									健康福祉局高齢在宅支援課によるロコモティブシンドローム予防に関する取組、ハマトレ実技研修、介護の日キャンペーン		
市民局スポーツ振興課によるスポーツ大会・イベントの実施(ビーチスポーツ・トライアスロン・レクリエーション・市民体育大会・横浜マラソン等)											
禁煙・飲酒											
	健康福祉局保健事業課による受動喫煙防止啓発や禁煙支援等の取組										
口腔											
						健康福祉局障害企画課による研修会の開催(市内障害者施設職員に対し、嚥下・口腔ケア等について研修)					
休養											
	健康福祉局こころの健康相談センターによる人材育成(職員・医療機関を対象とした研修)・依存症対策(講演会の開催、依存症回復プログラム)・自殺に対する普及啓発、災害時のこころのケアに関する研修・啓発										